

屋台が市民、地域住民、観光客等にさらに親しまれる存在となることを目指し、福岡のまちににぎわいや人々の交流の場を創出し、観光資源としての効用を発揮していくよう、取り組みについて検討する。

## <取り組み例>

### ①地域貢献活動・PR活動

- ・市主催イベント等への参加呼びかけ  
例) 博多ライトアップウォーク等
- ・地域イベント等を紹介し、参加を促す  
例) 地域のはしご酒イベントへの参加等
- ・地域活動（清掃等）への参加を促す



### ②利用しやすく、安心できる屋台づくり

- ・「利用しやすく、安心できる屋台」を目指す取り組みを支援  
例) 多言語対応, クレジットカード等対応, レシート発行 等



### ③営業状況及び屋台に対するニーズ等の把握

- ・公募屋台営業開始から1年経過後を目途に、再度ヒアリング等を実施し、屋台に対するニーズ等を把握  
→ 次回以降の公募や、開業後の支援に活用



### ④実績や取り組みを評価する、プラス評価の仕組みづくり

- ・屋台営業者が、自律的に屋台の効用を高める活動、地域への貢献活動、その他公益に資する活動等に取り組んでいくよう、優れた取組みを市HP等の媒体で先行事例として紹介し、プラス評価をしていくとともに他の屋台営業者への波及を図る。

<想定される先行事例（案）>

- メニュー表示や明瞭会計の事例 …… メニューの外国語表記, クレジットカード等対応, レシート発行
- 他の屋台との連携事例 …… エリア単位での連携イベントの実施
- 地域貢献の事例 …… 地域の清掃活動への参加, 地域イベントへの参加
- 市政への協力事例 …… 市主催など各種イベントへの参加
- その他の取組み事例 …… 子連れ客の受け入れ

等